



認定NPO法人アジア・コミュニティ・センター21 (ACC21) は、フィリピンのストリートチルドレンを2030年までにゼロにすることを目標に掲げながら、路上で暮らす子どもや若者の人権が守られ、安心できる環境で暮らし、路上を抜け出すことができるよう、次の活動に取り組んでいます。



Project Bamboo 路上で暮らす若者の自立支援プロジェクト

一人ひとりの若者が路上生活を抜け出し、貧困の連鎖を断ち切るため、自立のための研修や各種サポートを提供しています。

フィリピンの “ストリートチルドレン ZERO” キャンペーン

日本とフィリピンの市民の意識啓発や協力の輪づくりなどに取り組んでいます。



Take Action! 日本とフィリピンの 子ども・若者の啓発と 次世代育成プロジェクト

ストリートチルドレンのためのアクションを主体的に起こす人を増やし、その輪を広げることを目指して講座の開催や、関連動画・教材のウェブ上での公開を行っています。



ACC21のフィリピンでの活動をもっと知る



あなたにできること

1989年の国連総会で「子どもの権利条約」が採択されたことにより、国際機関やNGOなどによるストリートチルドレンへの支援が急速に拡大しました。ところが世界にはいまだに推定1億人以上のストリートチルドレンがいるとされています。現地に行って直接ストリートチルドレンへの支援ができなくても、



- ①寄付をすること
- ②ストリートチルドレンについて学ぶこと
- ③学んだことを家族や周りの人に伝えること

など、できることはたくさんあります。



フィリピンに37万人いるとされるストリートチルドレンをゼロにするという目標は、私たちだけで達成できるものではありません。あなたもぜひ、ストリートチルドレン・ゼロのために一緒に行動しませんか。

ストリートチルドレンの
ためのアクションを
もっと知る



発行



認定NPO法人（特定非営利活動法人）
アジア・コミュニティ・センター21

〒113-8642 東京都文京区本駒込2-12-13 アジア文化会館1F
TEL ▶03-3945-2615 FAX ▶03-3945-2692 URL ▶<https://acc21.org>

ACC21へのご寄付は、税制上の優遇措置の対象となります。



あなたは “ストリートチルドレン”を 知っていますか？

いま、世界の子ども20人にひとりが「ストリートチルドレン」といわれています。彼らはなぜ生まれたのか、どのような暮らしをしているのか、私たちには何ができるのか。まずは知ることから始めてみませんか？

認定NPO法人
アジア・コミュニティ・センター21

ストリートチルドレンとは

ストリートチルドレンは「路上に住む、あるいは路上で生計を立てている18歳未満の子どもたちのこと」とされ、大きく3つのタイプに分けられます。



1 Children on the street 日中は路上で働き夜は家に戻る子どもたち

家族で暮らしていますが、経済的苦境から、生活費を稼ぐために物乞いや物売りなどをします。なかには、学校に通いながら路上で働いている子どもたちもいます。



2 Children of the street 路上で寝泊まりしている子どもたち

家族はいても家に居場所がなかったり、食べるものがなかったりするなどの理由で、家にはほとんど帰らずに路上で生活をしています。



3 Abandoned Children 家族がいない子どもたち

家族に見捨てられてしまっており、帰る家はなく、家族についてもほとんど知りません。路上に出て、自分と同じような境遇にいる仲間と一緒に生活をしています。

なぜ路上で暮らすの？

貧困、自然災害による移住、紛争や戦争、家庭崩壊、親の死など、ストリートチルドレンの数だけ、路上で生活している理由があります。政府の支援が足りず、十分な教育を受けられないまま大人になる人が多いため、その子どもたちも路上で育ちます。さらに、貧しさから農村から都市へ移る人が後を絶たず、路上で暮らす子どもは増え続けるという悪循環が続いています。



フィリピンでは

近年、経済成長が注目されているフィリピンですが、全国で推定37万人、首都マニラだけでも推定20万人以上のストリートチルドレンがいますとされています。路上にいる間、子どもたちは非常に危険で過酷な状況に置かれています。

児童労働

大半のストリートチルドレンが、労働しながら路上で暮らしています。物売りや洗車、ゴミあさり、お菓子売り、物乞いなどをするほか、買春や小さな窃盗など犯罪に関与することもあります。

栄養失調

多くの子どもが満足に食事をとることができていません。空腹を紛らわすために、シンナーに手を出す子どももいます。

医療・教育へのアクセスの欠如

栄養不足や不衛生な環境で、心身ともに不健康な状態にありながら、多くは医療にアクセスできていません。学校に入学しなかったり、途中で退学したりするなど、十分な教育を受けていない子どもが多くいます。

虐待・搾取

家族や周囲の大人から、虐待や搾取の被害に遭うこともあります。少女のみならず、少年も路上で性的虐待の被害に遭っています。

若年妊娠・出産

10代など若いうちに子どもをもつ少女もいます。若くしての出産は、母体の健康リスクが高いだけでなく、妊娠・出産・子育てによって学ぶ機会が限られ、収入が得にくくなり、さらなる貧困に陥りやすくなります。

以上のような、ストリートチルドレンが直面している問題に対して、国内外のNGOが、路上での教育や食事の提供、カウンセリング、施設での保護、自立支援などの根気強い活動をしています。しかし、支援の届く範囲には限界があり、子どもたちを取り巻く環境を大きく変えることは困難を極めています。